



あなたの思いやりを

山梨県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体

公益社団法人 被害者支援センターやまなし だより

第20号

平成25年12月



被害者支援活動に理解を!

10月3日、JR甲府駅前で「犯罪被害者支援の日」キャンペーン

当センターでは、10月3日、全国的に展開している「犯罪被害者支援の日」街頭キャンペーン活動をJR甲府駅南口広場で実施しました。犯罪被害者支援活動への理解や参加を呼びかけるキャンペーンで、県警犯罪被害者支援室や山梨県県民生活・男女参画課、甲府警察署の関係職員ほかボランティア支援員ら約20人が、通勤、通学客にパンフレットやチラシ、ティッシュなどを手渡しました。

また、11月16、17日に甲府市・小瀬スポーツ公園

で開かれた「県民の日記念行事」では、山梨県警の協力を得て、陸上競技場前の「ふれあいけいさつコーナー」で、当センターのボランティア支援員ら約20人がそろいのベストに身を包み、来場者にチラシなどを手渡し、PRしました。さらに、11月23日、甲府市・コラニー文化ホールで開かれた山梨県警察本部主催の「山梨県警察音楽隊第7回ふれあいコンサート」では、エントランスにて資料を配付、観客に被害者支援活動の重要性を訴えました。



県民の日イベントや県警音楽隊コンサートでもPR

犯罪被害者支援講演会

演題「犯罪被害者等支援について～その歴史と理念～」



きめ細かな民間の活動に期待

11月26日(火) 山梨県防災新館

講師: 黒澤 正和 氏 (犯罪被害救援基金専務理事)

11月26日、当センターの主催で犯罪被害者支援講演会を、防災新館8階大会議室で開きました。今年は、公益財団法人犯罪被害救援基金専務理事・黒澤正和さんを講師に招き「犯罪被害者等支援について～その歴史と理念～」と題して講演していただきました。

黒澤さんは昭和44年、東京大学法学部を卒業し警察庁へ入庁。佐賀県警本部長などを歴任した後、平成3年からは犯罪被害支援の主管課長である給与厚生課長として被害者等支援のための法整備などに尽力されました。同14年に警察庁退官、企業等の役員を歴任した後、同22年から同基金の理事として活躍されています。

講演で黒澤さんは、パワーポイントを使い、まず

「被害者(等)」という言葉の定義が捜査や裁判の場面と警察と国民の関係からみた場面で微妙に違いがあるということを解説していただきました。

さらに、実際に起きた過去の事件・事故や被害者の声を引用しながら、被害者等に対する支援施策の考え方が徐々に深まっていく過程を、犯罪被害者等給付金支給法の改正の歴史を挟み込みながら、黒澤さんならではの視点でひもとかれました。

最後に、「縦割りの専門目線で国民の生活を切り分ける公的機関のアプローチには限界がある」と、きめ細かな対応ができる民間団体支援の重要性を繰り返し訴えられました。

会場では、参加者140人がメモを取るなどをして真剣に黒澤さんの解説を聞いていました。

支援活動にあたたかいご協力を

被害者支援センターやまなし理事長
竹井 清八

私達を取り巻く「安全」や「安心」の問題について目を向けてみますと、全国的には、性犯罪の低年齢化など児童等の社会的に弱い立場の人が被害を受け、犠牲となっている悪質で異常な事件が数多く発生しています。私達県民も、いつ何時、被害者の立場に立たされるか、強い不安を感じています。

こうした中、犯罪被害者らに対する救済や支援の必要性を訴える声は年々高まり、当センターはもちろん、関係の行政機関、各種団体等が連携し、様々な形の支援活動が行われています。

全国的にも47都道府県全てに被害者支援センターが設立されており、ネットワーク化され、いつでも、どこでも、途切れることのない支援活動を展開しています。

当センターは、平成19年4月から社団法人として設立され、昨年11月には、山梨県公安委員会から犯罪被害者等早期援助団体の指定を受けるなど、本格的な活動を続けております。既に6年8カ月になろうとしていますが、この間、「電話や面接による相談業務」の1,250件をはじめ、裁判所・検察庁・警察・医療機関等への付添いなどの「直接支援活動」が55件と、各種支援活動に幅広く取り組んで参りました。犯罪被害者支援講演会は、より多くの県民の方々に支援に関する理解を深めていただくための一環として開催しています。

今後も、皆様方のご協力をいただきながら、被害者支援の活動、あるいは広報啓発活動に力を入れて取り組んでいきたいと考えていますので、なお一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。



犯罪被害に遭わないためと被害者になつてしまった方への思いやり

山梨県警察本部警務部長 天野 賀仁



警察は、犯罪の予防、取締りを行っていることから、犯罪者と対峙する業務が大きく取り上げられがちであります。しかし、犯罪に関しては、犯罪者と対峙する警察だけでなく、その当事者となる被害者の存在を忘れてはならないのではないのでしょうか。

裁判や報道においても、警察と犯罪者との対峙が注目されがちでありましたが、当事者である被害者の権利の保護、被害の回復をいかに図るべきかがより重要な施策となってきております。

特に、交通事故、通り魔事件、ひったくり事案などの犯罪については、通常生活の中において、突然に発生し、通常的生活を一変させる事案であり、誰もが、その被害者となり得る出来事です。

誰もが、こうした犯罪の被害者となることを予測することはないことから、被害に遭った場合、また、被害者の家族となった場合に、どのように対処すればいいかわからず、途方に暮れることとなってしまいます。

公益社団法人被害者支援センターやまなしでは、不幸にしてこうした犯罪被害者等となった方々からの相談に対し、精神的なアドバイス、民事的な損害賠償に関する弁護士等の専門家の紹介、刑事裁判の手続きに関する教示、マスコミからの取材に対する対応要領等について説明や助言を行っているほか、裁判所等への付き添いであるとか生活面での支援など、民間団体の特性を活かしたきめ

細かで長期に及ぶ支援を行っております。

また、犯罪被害者支援に関する広報啓発活動の一環として、犯罪被害に遭った方などの体験談を聞くことにより、犯罪被害に遭わないための予防対策の重要性、犯罪を犯すことによって被害者やその家族に対し多大な不幸をもたらすという重要性を多くの方に理解していただき、犯罪の予防を推進する「命の大切さを学ぶ授業」を展開しております。

当センターの活動は、ボランティアの支援員や趣旨に賛同していただいた県民の皆さんによる賛助会費や寄付金によって支えられておりますので、こうした活動の重要性について多くの方にご理解をいただき、当センターへの支援を通じて犯罪被害者等への思いやり・支援をお願いいたします。

「命の大切さを学ぶ授業」

社会全体で被害者を支え、被害者も加害者も出さない街づくり事業

当センターは、山梨県警と共催で、「命の大切さを学ぶ授業」を開催しています。

県内の中高生らを対象に、犯罪や交通事故などで大切な人を亡くされた遺族等の講演会を開き、被害者遺族の思いや心の痛みと生命の大切さを訴え、将来を担う子どもたちに被害者に対する理解と配慮の意識を涵養するとともに、「犯罪を犯してはならない」という規範意識の向上を図るものです。

これは、社会全体で被害者を支え、被害者も加害者も出さない街づくり事業の一環として行われています。

今年度の「授業」は、4月19日、甲府南高校で千葉県
の沢田美代子さんが全校生徒874人を対象に講演
をしたのを皮切りに、9月27日の吉田高校では埼玉

県の橋本隆史さんが全校生徒840人に、10月16日、
南アルプス市若草中学校では大野玲子さんが全校生
徒440人と保護者を対象に、11月21日、帝京第三高
校では1、3年生300人を対象に中曽根えり子さん
が、それぞれ自らの体験を語り、思いを伝えていた
できました。



吉田高校で開かれた「命の大切さを学ぶ授業」



若草中学校



帝京第三高校

被害者支援を啓蒙する講演を開催しています

ご希望の方はご連絡を



当センターでは、県民の皆様「被害者支援の重要性」を理解していただくため、機会あるごとに企業・団体等に赴き講演を行っています。

このほど、山梨県リニア交通局交通政策課主催による「ビジョンゼロ山梨・飲酒運転絶滅研修会」の一環で、
韮崎市の三井金属鉱業株式会社において、社員500人
を対象に当センター佐々木次長が講演を行いました。

また、警察関係では犯罪被害者支援週間に合わせ
て、富士吉田警察署員、笛吹警察署犯罪被害者連絡協
議会、南アルプス警察署員を対象にそれぞれ講演会を
開催しています。

今後とも、実務経験に併せた被害者支援の大切さを
県民に訴えるための講演会を開催して参りますのでご
希望のある方は、是非、当センターまでご連絡をお願い
致します。

寄付金付き自動販売機 新たに2台を設置



富士吉商事市場東給油所内に設置

当センターは、財政基盤が脆弱のため、広く「犯罪被害者支援寄付金付き自動販売機」の設置をお願いしております。缶ジュース等の売り上げの一部をご寄付いただくもので、これまでも当センターの法人会員・株式会社フローレン様のご協力をいただき、市川三郷町序舎内に設置していただきました。今回、甲府市国母6丁目の富士吉商事市場東給油所(相吉浩司社長)、および甲府市丸の内2丁目の萩原憲様にご理解・ご協力をいただき、チャリティー自動販売機を導入いただきました。

当センターでは、今後も寄付金付き自販機の設置を広くお願いしてまいります。自販機契約更新や新規設置の際はご検討をお願いいたします。



メグロ会館前に設置された自販機

当センターでは、今後も寄付金付き自販機の設置を広くお願いしてまいります。自販機契約更新や新規設置の際はご検討をお願いいたします。

センター役員名簿

(順不同・敬称略)

顧問	横内 正明	山梨県知事
	棚本 邦由	山梨県議会議長
	真家 悟	山梨県警察本部 本部長
	白倉 政司	山梨県市長会会長
	渡邊 凱保	山梨県町村会会長
	長澤 利久	山梨県経営者協会会長
	廣瀬 久信	山梨県農業協同組合中央会会長
	葉袋 健	山梨県医師会会長
参与	牛奥 久代	山梨県女性団体協議会会長
	藤田 尚晋	(公社)日本青年会議所関東地区 山梨ブロック協議会会長
	藤巻 秀子	(公社)山梨県看護協会会長
	小野 忠則	(公社)被害者支援センターやまなし前専務理事

理事長	竹井 清八	山梨県商工会連合会前会長
副理事長	山口 勝弘	山梨県臨床心理士会会長
	山角 駿	山梨県精神科病院協会会長
専務理事	三枝 昇	(公社)被害者支援センターやまなし 山梨県建設業協会会長
理事	浅野 正一	山梨県弁護士会犯罪被害者支援センター委員長
	石川 恵二	NPO法人山梨いのちの電話理事長
	大澤 英二	山梨県遊技業協同組合理事長
	大森 武正	山梨県遊技業協同組合理事長
	金丸 康信	山梨県遊技業協同組合理事長
	小林 明樹	山梨県商工会議所連合会甲府商工会議所事務局長
	五味 政樹	(一財)山梨県交通安全協会常務理事
	新海 一男	山梨県中小企業団体中央会専務理事
	成澤 廣之	(一社)山梨県警備業協会専務理事
	西川 勝仁	山梨県文化会館代表取締役
	武者 吉英	山梨県産婦人科医会前会長
監事	上野 敬一	山梨県司法書士会理事
	中村 勝良	東京地方税理士会山梨県会 総務部副部长

正会員名簿

山梨県農業協同組合中央会
山梨県商工会連合会
山梨県中小企業団体中央会
(一社)山梨県薬剤師会
(社)山梨県信用組合協会
(一社)山梨県歯科医師会
山梨県司法書士会
山梨県社会保険労務士会
山梨県精神科医会
山梨県中古自動車販売協会
(一社)山梨県食品衛生協会
(公社)山梨県宅地建物取引業協会
(一社)山梨県銀行協会
山梨県商工会議所連合会
山梨県弁護士会
山梨県信用金庫協会

東京地方税理士会山梨県会
(一社)山梨県不動産鑑定士協会
山梨県石油協同組合
(社)山梨県建設業協会
山梨県行政書士会
山梨県経営者協会
山梨県生命保険協会
(社)山梨県医師会
山梨県産婦人科医会
(一社)山梨県民間病院協会
山梨県精神科病院協会
(公社)日本青年会議所関東地区山梨ブロック協議会
(公社)山梨県看護協会
山梨県女性団体協議会
山梨県自動車販売店協会
山梨県タクシー協会
(一社)山梨県トラック協会

(一社)山梨県バス協会
(一社)山梨県自動車整備振興会
山梨県軽自動車協会
NPO法人山梨いのちの電話
山梨県臨床心理士会
山梨県遊技業協同組合
山梨県ゴルフ場支配人会
(公財)山梨県暴力追放運動推進センター
(一財)山梨県警察官友の会
(一財)山梨県交通安全協会
(公財)山梨県防犯協会
(一社)山梨県警備業協会
(一社)山梨県指定自動車教習所協会
(一社)山梨県安全運転管理者協議会
(一社)山梨県警友会連合会
株式会社テレビ山梨
山日YBSグループ
(株)たいよう共済山梨支店

(平成25年6月21日現在・順不同)

賛助会員を募集しています!!

当センターの運営は
皆さまからの浄財を頼りとしております

当センターの運営は、山梨県及び
県内市町村の「助成金」と法人(各種
団体・事業所)、個人の皆様方の「会
費」、「賛助会費」、「寄付金」等によっ
て賄われておりますが、収益事業を
行っていないため、財政基盤が十分
ではないのが実情です。



現在も、被害者支援に関する事業
を安定的かつ継続して行っていくた
めに必要な財源が不足しており、その財源につつま
しては県民の皆様方の浄財に頼らざるを得ない状況に
あります。

このため、当センターでは被害者支援活動の必要
性や当センターの果たす役割の重要性を広く県民に
訴え、多くの方々からの理解と協力を求めています。

なお、賛助会員、寄付金の募集内容は以下の通りで
す。ご協力よろしくお願いたします。

賛助会員

個人会員	1口	2,000円(年間)
法人会員・団体会員	1口	10,000円(年間)

寄 付

個人寄付	1口	1,000円
法人・団体寄付	1口	10,000円

お振込先

●銀行振り込みの場合

山梨中央銀行 県庁支店 普通預金 口座番号662535
受取人
(フリガナ) シャヒガイシャシエンセンターやまなし
(社)被害者支援センターやまなし

●郵便振替の場合

00270-3-114370
(社)被害者支援センターやまなし

あなたの思いやりが被害者を支えています。 ご協力感謝申し上げます。

(敬称略・順不同) (平成25年7月1日～平成25年11月30日)

賛助会員入会者

- | 法人・団体 | 個人 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●山梨県信用保証協会 ●VanaH株式会社 ●ホテル千石 ●長坂クリニック ●ファンック株式会社 ●有限会社オクノ旗店 | <ul style="list-style-type: none"> ●韮崎警友会 ●富士吉田警察官友の会 ●吉川 茂 ●望月 幸子 ●三枝 幾子 |

寄 付 者

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●(株)フローレン：自販機分 ●鯉沢警察署 ●北杜警察署 ●県警運転免許課 ●笛吹警察署 ●日下部警察署 ●南部警察署 ●大月警察署 ●山本 保彦 ●原税務会計事務所 ●(一社)甲府市医師会 ●中村真理子 ●有泉 憲一 ●奥秋 勝美 ●秋山 悟 ●中澤 明彦 ●秋山 藤雄 | <ul style="list-style-type: none"> ●武井 俊人 ●サテライト双葉 ●出羽 公昭 ●山口 勝弘 ●(株)中島鶏卵市場 ●吉川 茂 ●一瀬 英史 ●若月 誠 ●川波 輝美 ●窪田 圭一 ●小野 忠則 ●コココーラセントラル
ジャパン(株):自販機分 ●古屋 勇紀 ●塚田 岳夫 ●里吉 敦子 ●黒澤 正和 |
|--|--|



お問い合わせ先

山梨県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体

公益社団法人被害者支援センターやまなし

〒400-0031 甲府市丸の内2-32-11 県医師会館3F TEL・FAX055(228)8639

URL <http://www6.ocn.ne.jp/~shienyam/>
MOBILE <http://www6.ocn.ne.jp/~shienyam/m/>
Email sien-yamanashi@comet.ocn.ne.jp

